



木村 久雄 議員
(公明党議員会)



障がい者支援について

選挙権を有しても、障がい等により、その行使が難しい方がいる。投票に参加できない方々に対し作成されたのが選挙支援カードであり、投票所や期日前投票所で代理投票やその他の支援が必要な方が係員に口頭で伝えることが困難な場合に使用するもので、投票環境におけるバリアフリー化や障がい者のウエルビーイング等の観点からも必要不可欠である。この選挙支援カードを導入し、障がい者の方に対する投票支援及び投票率の向上を図ることに关して本市の考えを伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

障がいのある方が円滑に投票することができるよう取り組んでいるところですが、さらなる投票支援の在り方として、選挙支援カードの導入を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆美術館・博物館の活用について
☆子どもたちの目の健康について
☆旧新合保育園について



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



福祉行政の給付金等について

帯状疱疹の予防接種では、生ワクチンの場合には約1万円程度、不活化ワクチンの場合には1回約2万円、2回打つと約4万円と言われている非常に高額である。本市としても、予防接種の一部補助、助成に取り組むべきだと思いが、この助成についての考えを伺いたい。

A 市長

帯状疱疹の予防には、免疫力が下がらないような生活習慣とワクチンの接種が有効であると考えています。今年度よりワクチン接種費用の助成を始めた市町もあり、本市では、健康長寿推進条例を制定し、健康づくりに取り組んでいるところで、この取組の一環として、本市における帯状疱疹予防接種の助成について積極的に検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆消防指令センターの共同運用について
☆水道事業について



小森 隆一 議員
(公明党議員会)



帯状疱疹について

他自治体では帯状疱疹ワクチン公費助成を行っているところ(栃木県内では合計9自治体になる予定)もあるが、本市でも帯状疱疹ワクチン接種の助成を行うことについて考えを伺いたい。

A 市長

帯状疱疹の予防には、ワクチンの接種が有効であると考えています。また、昨年度より、市民や医療機関の方々から、帯状疱疹の予防接種についての問合せが寄せられており、併せて今年度よりワクチンの接種費用の助成を始めた市町村もあることから、帯状疱疹予防に対する関心は相当高まっていると認識しています。

具体的な必要性については、改めて実感しているところであり、健康長寿推進条例を制定し、健康づくりの一環として、本市における帯状疱疹予防接種の助成については、積極的に検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆空き家対策について
☆市有地や道路等にはみ出し
ている木等の伐採について

